

# 栗原地域だより

第3号

平成24年9月3日発行

## 目次

- “和牛オリンピック”の宮城県代表として栗原の牛が出場します p1
- 花山湖畔の店「旬菜」、地域特産品を取りそろえリニューアルオープン!! p2
- 仙台市内で「くりはら地域産品フェア」を開催します p2
- 施設でつくる安全・安心な「菌床きのこ」「原木きのこ」をどうぞ!! p3
- ～「栗原の森林・自然・きのこ生産現場見学会」を開催～ p3
- 全国農業コンクール全国大会で有限会社「耕佑」が優秀賞を受賞! p3
- 栗原にアフリカのマラウイ共和国から研修生がやって来ました! p4
- ～農業水利技術を学ぶと共に地域の伝統文化も体験～ p4
- 仙台・宮城デスティネーションキャンペーンに向け準備中! p5
- ～第1回おもてなし研修会を開催～ p5
- さあ、出かけよう!～この秋はイベントがいっぱい～ p5
- 栗原市内の農林産物の放射性セシウム濃度を検査しています p6

秋の栗駒山



## “和牛オリンピック”の宮城県代表として栗原の牛が出場します

畜産振興部

今年10月、和牛のオリンピックと称される、5年に一度の「全国和牛能力共進会(以下「全共」)」の第10回大会が、長崎県で開催されます。

この「全共」には、全国から500頭ほどの牛が集まり、改良度合や牛肉の質などを競います。上位入賞すればブランドとしての評価が高まるため、生産者はもちろん関係団体でも力を入れ、地域の威信をかけて改良に取り組んでいます。

7月27日・28日、みやぎ総合家畜市場にて、「全共」への出品牛の最終選考会を兼ねた、「平成24年度宮城県総合畜産共進会肉用牛の部(以下「県共」)」が、開催されました。

30℃を超える猛暑の中、人も牛も暑さに耐え、長時間の審査に臨みました。「県共」には、県内から延べ96頭、そのうち栗原地域から15頭が出品されました。審査の結果、宮城県代表の種牛として18頭が選抜され、そのうち5頭が栗原地域から選ばれています。

5年後の平成29年には宮城県での「全共」開催が決定しています。5年後に向け弾みをつけるためにも、選抜された牛に対して、飼養管理や調教など万全な調整を行い、本番での上位入賞を目指していきます。

■問い合わせ先 畜産振興部畜産振興班 Tel:0228-22-2487

第5区(繁殖雌牛群)の代表牛



第3区(若雌の2)の代表牛



## 花山湖畔の店「旬菜」<sup>しゅんさい</sup>、地域特産品を取りそろえリニューアルオープン！！

林業振興部

花山湖畔の国道 398 号線沿いに栗原市が整備した地域産物直売施設の「湖畔の店『旬菜』」が、地域特産品を取りそろえ、食事処も併設してリニューアルオープンしました。

直売コーナーでは、栗原地域で生産の盛んなシイタケ、ナメコ、マイタケなどきのこや山菜類の珍しい加工品、さらには、工芸品や山野草なども販売しています。また、食事処では、週末限定で乾燥ナメコを具材に炊き込んだ「きのこ御飯」を提供しており、ここでしか味わえない味覚として好評です。

店舗からは「みやぎ新観光名所 100 選」にも選ばれた花山湖の素晴らしい眺望も堪能できますので、ぜひこの景色を眺めながらゆっくりと買い物や食事を楽しんでみてください。

■問い合わせ先 湖畔の店「旬菜」 Tel：0228-56-2247



## 仙台市内で「くりはら地域産物フェア」を開催します

地方振興部

栗原市内の農家・食品加工業者が連携して開発した加工食品等を仙台市内でPR・販売する「くりはら地域産物フェア」を、当事務所主催で開催します。

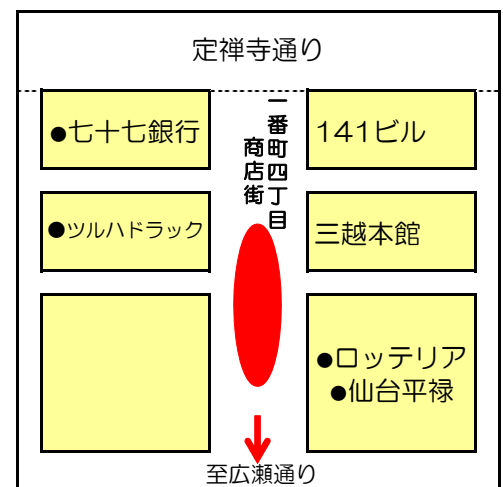
販売する商品は、地元の枝豆を使用した世界唯一の「ずんだジャム」や、シイタケをお菓子にした「椎茸スナック」、生のナメコと違った食感・風味が味わえる「乾燥なめこ」、栗原伝統の味「しんこもち」や漬物の「栗駒漬」など、栗原自慢の食品です。また、当日は栗原市鶯沢の細倉マインパークのキャラクター、“マイン坊や”が登場します。ぜひご家族でご来場ください。

### ■日時

- ・9月15日(土)、16日(日)
- ・10月20日(土)、21日(日)
- ・11月10日(土)、11日(日)

いずれも、午前10時から午後4時まで

■場所 仙台市一番町四丁目商店街(歩行者専用道路)



■主催・問い合わせ先 地方振興部商工・振興班 Tel：0228-22-2195

施設(ハウス)でつくる安全・安心な「菌床きのこ」「原木きのこ」をどうぞ！！

～「栗原の森林・自然・きのこ生産現場見学会」を開催～

林業振興部

栗原市は、シイタケ、ナメコなどきのこの生産量が県内第一位であることをご存じですか？

きのこの栽培施設は岩手・宮城内陸地震、東日本大震災で大きな被害を受けましたが、現在、完全復活に向けて安全・安心なきのこ生産に取り組んでいます。

7月21日(土)、栗原のきのこを大いにPRするため、「栗原の森林・自然・きのこ生産現場見学会」を開催し、仙台市等から39人の参加がありました。菌床きのこ生産現場では、復旧した施設の見学と収穫体験、さらには焼きシイタケの試食を行い、大変好評でした。

見学会終了後のアンケート結果では、「放射能が心配でシイタケは買っていなかったが、説明・見学で安心して食べられることを知り参加して良かった」と回答した方が参加者39人中22人(56%)にもなり、想像以上に風評被害が広がっていることに驚かされました。

県では、農林水産物の放射能検査を定期的に行っています。また、民間検査機関に生産者が依頼して放射能検査を実施しており、二重三重のチェックを受けたきのこが出荷されていますので、安心して召し上がることができます。

今後も風評の解消のため、栗原市や関係機関、生産者と協力し、放射能検査を行い、安全性をPRしていきますので、皆さまのご理解とご支援をお願いします。

■問い合わせ先 林業振興部 Tel：0228-22-2381



全国農業コンクール全国大会で有限会社「耕佑」が優秀賞を受賞！

農業振興部

7月24日、島根県出雲市で開催された「第61回全国農業コンクール全国大会」(毎日新聞社・島根県主催)において、栗原市一迫地区の有限会社「耕佑」代表取締役社長の山村喜久夫氏が経営実績を発表し、見事優秀賞を受賞しました。

「耕佑」は一迫南沢集落にある農業生産法人です。沢沿いの不利な条件下にある集落の稲作生産を担うとともに、一年を通じた就労を目的に野菜の養液栽培を導入し、経営を発展させてきました。主力のサラダ菜やサンチュは、市場との信頼関係により「耕佑ブランド」として仙台市場の9割以上のシェアを占めるなど、高い評価を得ています。また、水稻部門では利用権設定の他、作業受託





から販売までを担い、高い販売単価を確保することで地域に利益を還元してきました。審査においては、協業経営で農村集落を守ろうとする取組が高く評価されました。

全国大会では上位 10 代表に与えられる名誉賞は惜しくも逃したものの、地域とともに歩む姿や震災に立ち向かう姿は、会場の共感を得ていました。山村社長や黒澤専務も全国レベルの経営に触れ、自社のさらなる経営発展を誓っていました。



全国大会で表彰を受ける山村社長(右)

■問い合わせ先 農業振興部地域農業班 Tel: 0228-22-9404

栗原にアフリカのマラウイ共和国から研修生がやって来ました！

～農業水利技術を学ぶとともに地域の伝統文化も体験～

農業農村整備部

マラウイ共和国という国をご存知ですか？あまり馴染みのない方も多いかと思いますが、アフリカ大陸南東部に位置し、東北と北海道の面積を合わせた程の国土を有する国です。去る 7 月 17 日から 25 日までにかけて、この国の水開発灌漑省からニコラスさん(29)とドミニクさん(28)のお二人が研修生として栗原にやってきました。



現地測量の様子  
(左:ニコラスさん 右:ドミニクさん)

県では平成 23 年から 3 年間の計画で、マラウイ共和国デッサ州の農業水利技術者人材育成を支援する活動を行っています。今回はその一環として、県内各地で約 1 ヶ月間の研修を行いました。当事務所で担当した 17 日からの 1 週間は、農地への取水施設を対象に、現地測量から設計、施工・安全管理までの流れを現地実習も織り交ぜながら研修しました。



餅つき会場で、栗原市長と記念撮影

また、最終日の 25 日には、瀬峰農場の大内一也さんのお宅を訪問し、栗原市長の臨席のもと、新聞各社の取材を受けながら循環型農業の体系を学ぶとともに、餅つきを体験しました。納豆餅はやはり苦手のようなのですが、あんこ餅とずんだ餅はお気に入りのようでした。

お二人は異国の慣れない環境にもかかわらず、「技術を母国に持ち帰り、国の農業を豊かにしたい」という情熱で多くの技術を修得しました。1 週間という短い期間でしたが、栗原で学んだことが、豊かな国づくりの一助になることを期待しています。

■問い合わせ先 農業農村整備部農地整備第一班 Tel: 0228-22-2401

仙台・宮城デスティネーションキャンペーンに向け準備中！

～第1回おもてなし研修会を開催～

地方振興部

当事務所では、平成25年度の仙台・宮城デスティネーションキャンペーン\*に向け、市内観光関係者を対象として『デスティネーションキャンペーンをもっと知ろう』をテーマに、「おもてなし研修会」を開催しました。

はじめに宮城県観光課の志子田観光振興専門監から、このキャンペーンをきっかけに栗原市の豊富な観光資源をPRする必要性、産業としての観光の重要性についてお話がありました。

次に、(社)一関観光協会の前事務局長小野寺廣芳氏から、『「いわてデスティネーションキャンペーン イーハートブいわて物語に取り組んで』と題して、これまでの経験を通して培った、受け入れ側としての心得や気持ちよく過ごしていただくための秘訣、現地での楽しみを発見していただくための工夫が紹介され、これからの取組の参考となりました。

今後も、継続して研修会を開催しますので、栗原市全体で仙台・宮城デスティネーションキャンペーンへ向けた機運を盛り上げていきましょう。

また、現在「笑顔咲くたび伊達な旅」キャンペーンの卓上ミニのぼりを配布中です。ご希望の方は、下記までご連絡ください。

■問い合わせ先 地方振興部商工・振興班 Tel: 0228-22-2195



DCに向けた取組案を提示頂いた小野寺氏



卓上ミニのぼり

\*デスティネーションキャンペーンとは

地方自治体・地元観光業者とJRグループとが連携して行う、観光キャンペーン。宮城県では、平成20年10月～12月まで開催して以来、2回目となります。

さあ、栗原へ出かけよう！～この秋はイベントがいっぱい～

地方振興部

日にち	イベント名	地域
9/2(日) 9/16(日)	築館朝市	築館
9/9(日)	くりでん乗車会	若柳
9/16(日)	東北神楽大会	栗駒
	みんなであわせになるまつり	栗駒
9/22(土)	全日本栗原伊豆沼レンコン堀り大会	若柳
	くりはら万葉祭	一迫
10/8(月) 10/9(火)	築館互市	築館

日にち	イベント名	地域
10/13(土) 10/14(日)	岩ヶ崎互市	栗駒
10/14(日)	くりでん乗車会	若柳
10/20(土) 10/21(日)	若柳互市	若柳
10/27(土) ～29(月)	くりはら陶芸展	志波姫
10/28(日)	栗原市産業まつり	若柳
10/29(月) 10/30(火)	高清水互市	高清水



■問い合わせ先 地方振興部商工・振興班 Tel: 0228-22-2195

栗原市内の農林産物の放射性セシウム濃度を検査しています

農業振興部・林業振興部

6月29日から8月24日までの間に農林産物90点の放射線セシウム濃度を検査し、88点が基準値の2分の1(50ベクレル/kg)以下でした。7月13日にブルーベリー1点が、基準値の2分の1を超え、精密検査をしたところ、190ベクレル/kgと基準値を超える放射性セシウムが検出され、同日付で栗原市内のブルーベリーについて、出荷自粛となりました。その後、市内のブルーベリー47点の調査を行ったところ、全て基準値以下でしたので栗原市の旧金成町を除いて、出荷自粛が解除されています。なお、旧金成町については出荷自粛が続いていますが、栗原市と連携し、継続的な検査と原因究明のための調査を行います。

また、8月10日に調査したマタタビで基準値の2分の1を超えましたが、精密検査の結果、62ベクレル/kgと基準値以内でした。

☆簡易検査の測定値が基準値の2分の1以下であったもの

(◎:2分の1以下 ー:検査未実施)

農産物		
品名	施設	露地
うめ(3点)	ー	◎
うり(3点)	ー	◎
えだまめ(4点)	ー	◎
オクラ(2点)	◎	ー
カボチャ(8点)	ー	◎
キャベツ(2点)	ー	◎
きゅうり(8点)	◎	◎
こまつな	◎	ー
コリンキー	ー	◎
さやいんげん(3点)	◎	◎
ししとう	◎	ー
しそ	ー	◎
ジャガイモ(4点)	ー	◎
ズッキーニ(4点)	ー	◎
だいこん(3点)	ー	◎
たまねぎ(2点)	ー	◎
チンゲンサイ	ー	◎
つるむらさき(2点)	◎	◎
とうもろこし(2点)	ー	◎
トマト(4点)	◎	◎
なし	ー	◎

農産物		
品名	施設	露地
なす(4点)	◎	◎
にんじん	ー	◎
にんにく(2点)	ー	◎
ねぎ	ー	◎
パプリカ	◎	ー
プラム(2点)	ー	◎
プリンスメロン	ー	◎
ブルーベリー(3点)	ー	◎
ほうれんそう	◎	ー
ミニトマト(4点)	◎	◎
みょうが(2点)	ー	◎
もも	ー	◎
モロヘイヤ	◎	ー
らっきょう	ー	◎
りんご	ー	◎

林産物			
品名	施設	露地	野生
菌床なめこ	◎	ー	ー
トンビマイタケ	ー	ー	◎

■問い合わせ先 農業振興部 Tel:0228-22-9437、林業振興部林業振興班 Tel:0228-22-2381

発行：宮城県北部地方振興事務所栗原地域事務所（地方振興部）

〒987-2251 宮城県栗原市築館藤木5-1 Tel:0228-22-2195(直通) Fax:0228-22-6284

E-mail: [nk-khsinbk@pref.miyagi.jp](mailto:nk-khsinbk@pref.miyagi.jp) ホームページ <http://www.pref.miyagi.jp/nh-khsgsin/>